

平成29年度 大阪府立茨木工科高等学校(全日制の課程)第2回学校協議会議事録

日 時 平成29年10月30日(月) 15:30～17:00

1 開会の挨拶

校長から挨拶

台風21号被害、3年生就職試験、オープンスクール等の報告  
文化祭、実習体験、修学旅行等についての連絡

2 座長挨拶

座長から挨拶

生徒数減少に伴い志願者数を増加させる取組が重要である

3 出席者紹介

学校協議委員 4名 教職員10名

4 平成29年度 本校教育活動について協議(座長)

(1) 平成29年度の学校経営計画の進捗状況について(校長)

校長より、学校経営計画の進捗状況の報告

「確かな学力」の育成では、基礎学力の充実、改善に向けて、ICT検討チームによる  
プロジェクターを使用した授業形態の研究を行っている

初任者の授業公開、6月と11月に実施、授業参観6月に実施

「安全安心で魅力ある学校づくり」では、今年度遅刻総数3500目標について、さらなる  
遅刻指導の強化をはかり達成するように努めたい

(生活指導部と担任団の連携が重要である)

「自立・自己実現の支援」では、電気系3年生が第二種電気工事士を全員取得達成した  
就職試験のための面接指導を全教員で手厚く指導を行っているが、改善が必要である  
進学者については、推薦入試でこれから随時決定をしていく状況である

「地域連携・地域貢献の取組みの推進」では、今年度は新たな取組を行った  
文化部展示や茨木工科展を開催し、大きな成果があった

ホームページの活性化では、かなりの更新を行うことにより、閲覧者が増加した

(2) 第1回授業アンケートについて(校長)

授業アンケートによる授業振り返りにむけた参考資料参照

授業改善にむけた取り組みが必要である

実技教科の方が評価は高いが、教科理科の評価が一番高かった

教職員に授業改善に向けた、振り返りシート等を使用し改善をめざす

(3) 平成29年度 生活指導部中間報告(井上 直人 首席兼生徒指導主事)

生活指導部長により、生活指導の現状報告

平成29年度生活指導の現状報告参照

遅刻指導時の各学期のリセット期間を変えることにより、遅刻数が減少

現時点では、2000を割っているので、目標達成3500に向けて、担任との連携を強化し  
努める (担任が生徒ともっと関わることにより減少をねらう)

(4) 平成29年度 進路中間状況等について(山本 康二 進路指導主事)  
進路指導部長より、進路中間状況について報告  
11期生進路決定状況を参照  
就職希望者は、現時点で90%以上の内定  
進学者希望者については、今後推薦入試による受験  
就職・進学に関する手引きを作成したほうが効率が上がるのではないかと助言があつた。

(5) ICT機器を用いた授業体制の取組について(教頭)  
教頭より、ICT機器を用いた授業体制の取組について報告  
ICT検討チームによる、先進校の視察やプロジェクトを活用した授業形態の改善等を研究  
生徒たちが、プロジェクトを活用したプレゼンテーション能力が必要な時代になってきた

(6) 茨木工科展について(井上 直人 首席兼生徒指導主事)  
井上首席より、茨木工科展について報告  
平成29年9月3日(日)に茨木工科展を開催した  
内容については、文化部の展示、ものづくり体験等を行い地域のみなさまへ本校の取組を紹介した

(7) 学校協議会運営規定改定について(校長)  
校長より、学校協議会運営規定改定について報告  
学校運営協議会の設置について参照

(8) 質疑及び意見交換(その他)

## 5 閉会の挨拶(校長)

校長から挨拶

教員の自発的な授業改善が必要である(今年度、機械系では教員主体の授業力向上のための講習会を年2回開催した)

## 6 事務連絡

第3回 学校協議会の予定 平成30年2月中旬